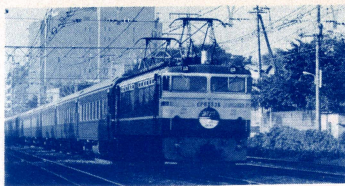


- 昭和53年 5月20日印刷
●昭和53年 7月 1日発行
●編集・発行者 竹島紀元
●編集スタッフ

1978・7 NO.137 Vol.12 NO.7



塚本雅啓／松尾定行／宮原正和
日比 彰／沖 勝則／三浦 衛

- アートディレクト 唯野信廣
●発行所
(株) 鉄道ジャーナル社
〒102 東京都千代田区飯田橋4-8-6
日産ビル 電話03(264)1891・1892
振替口座 東京 9-82820
●印刷所 凸版印刷株式会社

2年ぶりの交通ゼネストが4月下旬 多くの国民の仕事と生活の足をうばった。ストを打つ側の「論議」はあるであろうが、利用者にしてみればまさに「仁義なき戦い」である。大手私鉄のストが第1日目に解決したのはせめてもの救いだが、国鉄の列車は翌日もストップし、闘争の前後にはまたも大量の落書き電車が走ったことは遺憾であった。利用者不在の体質は使勞ともいっこうに変わっていないようで、「赤字国鉄」の再建は道遠し…の感が深い。

さて今月の特集は客車列車。ブルー・トレインの異常なブーム

と新型50系客車の登場で客車列車を見なおす機運がおとずれたのは喜ばしい。だが「ブーム」はしょせん「ブーム」以外の何ものでもなく、価値の再発見には真実を見きわめる眼と冷静な思考が大切である。また50系客車は試作であり、電車・気動車に伍して客車が旅客輸送の第一線に復帰することは日本の鉄道では困難も多いであろう。貨物列車削減で余剰となる機関車の有効活用も昨今の「客車列車」再発見の大きな要素と考えられるが、10年・20年先を見通す大局的な視野に立って、鉄道の真の発展をもたらす運営に努めてほしいと思う。

シリーズ・日本の鉄道⑦

京阪の動脈

永崎祐之 7
青木栄一

大阪↔京都「看板列車」乗りくらべ

山村定雄 22

●特集 客車列車の現状(1)

ブルー・トレイン 1978 編集部 31

営業面から見た客車(列車)のあゆみ 須田 寛 43

運転性能から見た客車列車 山之内秀一郎 48

客車列車現勢一覧 編集部 53

RED TRAIN 編集部 57

ドキュメント☆列車追跡②「客車列車」再発見 1. 筑豊のレッド・トレイン 竹島紀元／沖 勝則 64

2. 改造20系ブルー・トレイン<十和田2号> 種村直樹／沖 勝則 74

今月の撮影地① 筑豊のレッド・トレイン 東 健一郎 71

新・RJメカニズム 電源車 82

昭和の客車史(上) 編集部 84

ニュース・ファイル(国鉄・私鉄・海外鉄道の動き) 95

車両基地 98

★レールウェイ・トピックス

札幌市地下鉄南北線の延長開通 上田哲郎／奥野和弘 99

新ビズ、再生 近鉄2000系がデビュー 山村定雄 100

京都市地下鉄の建設工事近況 編集部 102

鉄道車両「系列」シリーズ⑦

EF65形直流電気機関車
松田清宏 103

★RAIL人生

関沢新一さんの世界 117

☆シリーズ・現場①

守る——保線作業員 永崎祐之 122

ポスターと書物のドラマ⑦ 佐々木桔梗 124

レールウェイ・レビュー 127

かがいてつどう イントロダクション 本島三良 134

「急行列車」再発見①東海道の名門急行「銀河」 135

トップ・アングル 138

ローカル線 点描 小林俊明 140

御茶ノ水駅界隈の今昔 伊藤東作 142

タブレット／前方ちゅーい！ 151

次号予告／ジャーナル編集部／乗務員室 154

ブルー・トレイン 128
◆ワイドレンズ／記念キップ・コーナー(128)◆R Jクイズ／鉄道友の会だより(129)◆鉄道記事ざっくばらん／魚眼(130)◆Q & A／ズームレンズ(131)◆書評／新刊紹介(132)◆外国趣味誌紹介／伝言板(133)

表紙★新しい鉄道の息吹き ローカル客車列車の近代化改善とイメージアップを図って誕生した50系客車——筑豊の「レッド・トレイン」に声援を送るかのように 東京ゆきの「ひかり」が頭上を走り過ぎてゆく… エネルギー革命の沈滞からの再浮揚に燃える筑豊の鉄道の未来ある構図 (カメラ＝竹島紀元)

特大号価格680円 千60円